

第26回 小樽市都市景観賞について

◆都市景観賞とは

小樽の歴史と風土に調和した都市景観を創り出している建築物などを表彰することにより、都市環境の向上とまちづくりへの市民の関心を高めるため、昭和63年に創設、隔年実施

◆募集の概要

- 募集期間：令和7年7月1日（火）～8月31日（日）
- 応募総数：20名（市内8名、市外12名）
- 対象物件数：6件

◆選考経過

- 都市景観賞選考委員会【8名、遠藤謙一良委員長】
 - ・令和7年10月17日（金）⇒出席7名、欠席1名
 - ・対象物件6件を現地視察や資料により選考
 - ・都市景観賞の候補3件、都市景観奨励賞の候補1件を選考、景観審議会に推薦
- 小樽の自然と歴史を生かしたまちづくり景観審議会【11名、小林孝二会長】
 - ・令和7年11月25日（火）⇒出席11名、欠席0名
 - ・選考委員会より推薦のあった物件を審議
 - ・最終的に都市景観賞3件、都市景観奨励賞1件を選定
 - ・同日、小林会長及び遠藤委員長が市長へ選定結果を報告、受賞物件を決定

【都市景観賞：3件】

受賞物件名	対象者
① 群青	有限会社 ラウンドアップトレーディング 代表取締役 中村 健一
② 小樽港観光船ターミナル	建築主：小樽市長 迫 俊哉 設計者：株式会社 遠藤建築アトリエ 代表取締役 遠藤 謙一良 施工者：近藤・西條共同企業体 代表者 近藤工業株式会社 代表取締役社長 佐藤 慶一
③ 小樽住ノ江火の見櫓とまもる会の活動	小樽住ノ江火の見櫓をまもる会 代表 早川 陽子

【都市景観奨励賞：1件】

受賞物件名	対象者
④ 歴史ある建造物群とその保存・利活用を目指すプロジェクト「裏小樽モンパルナス」の活動	ジーンズショップロッキ 代表 平山 三起子

受賞物件の写真、評価・
選考理由は裏面



①群 青



【評価・選考理由】

歴史的建造物の改修において、素材の再利用やデザインなど、いずれも高い水準で実施されている。単なる保存にとどまらず、歴史的な価値と現代的な価値を融合させた丁寧な空間づくりがなされており、歴史的建造物の保存・活用のモデルとして非常に優れた事例として評価された。

②小樽港観光船ターミナル



【評価・選考理由】

港の新たなランドマークとして、三角形とカテナリー曲線を組み合わせた特徴的な屋根形状や水面に映える夜景など、周囲の風景と調和しながら新しい景観を創出している。機能性とデザイン性を兼ね備えた施設であり、港の未来を見据えた空間づくりがなされている。小樽の海辺に新たな魅力を加える建物として高く評価された。

③小樽住ノ江火の見櫓 とまもる会の活動



【評価・選考理由】

地域の暮らしを見守り続けてきた火の見櫓は、ランドマークとしての存在感と歴史的価値の両面において評価されている。まもる会による継続的な保存活動は、地域の景観資産の継承として非常に意義があり、ワークショップや見学会などの取組は、市民の景観意識の向上にも寄与している。歴史的な工作物とその保存活動の両面から高く評価された。

④歴史ある建造物群とその保存・利活用を 目指すプロジェクト「裏小樽モンパルナス」 の活動



【評価・選考理由】

地域のまちなみを構成している歴史ある建造物群の保全と利活用を通じて、建物の商業利用にとどまらず文化発信の場として再構築している点が評価された。建物の個性を生かし、多種多様なイベントを通じて地域に新たな価値を生み出しており、今後、地域の活性化や文化的魅力を高めるプロジェクトとして、また、新たな景観形成に対する取組の展開が期待される。